

道徳教育推進リーフレット

～校内で道徳教育を推進するために～

深刻ないじめ事案が社会的課題となる中、子どもたち一人ひとりの命や尊厳を守り、安心して学べる学校づくりが強く求められてきました。こうした状況を背景に、道徳教育の在り方が見直され、平成30年度から「特別の教科 道徳」として教科化されました。文部科学省は、いじめを許さない態度や他者の痛みに共感する心を育てることを重要な柱とし、価値を一方向的に教え込むのではなく、「考え、議論する道徳」を通して、子どもが自らの行動や生き方を見つめ直す学びを重視しています。

本リーフレットでは、校内で道徳教育を推進するための視点や、道徳科の授業におけるポイントをQ&A方式でまとめています。道徳の教科化の趣旨を踏まえ、学校・家庭・地域が連携して、いじめを生まない風土づくりをし、子どもたちの心の成長を支え、いじめを未然に防止することが大変重要になります。本資料が、道徳教育の充実と、未来を担う子どもたちの成長を支える一助となれば幸いです。

令和8年1月 神奈川県教育委員会



Q1 道徳教育の推進・充実を図るために何から始めるとよいですか？

A 学校で育てたい子ども像を明確にして、目標、計画を立てましょう。

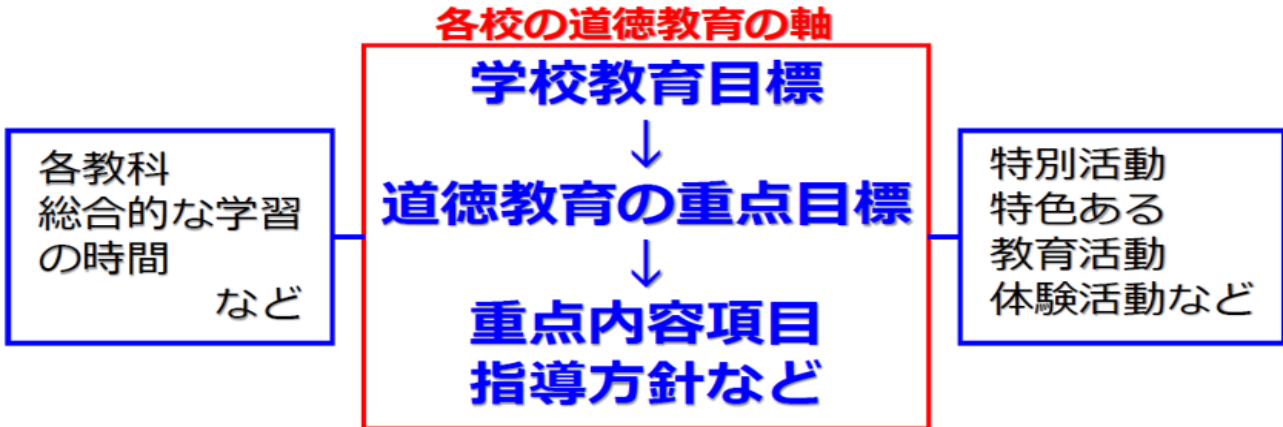
学校が子どもの実態や地域のねがい、活用できる教育資源などを的確に把握して、育てたい子ども像を明確にして、道徳教育の重点目標を設定し、その実現に向けた計画を教職員が理解し、実践できるようにすることが大切です。



校長の
リーダーシップ



学校の組織力



Q2 道徳教育を推進する際に、参考となる取組事例はありますか？



A 県内でも道徳教育推進の好事例や工夫が報告されています。

県内でも様々な学校が、道徳教育を推進するための取組を行っています。学校全体で育てたい子ども像を共有したうえで、教職員の負担の無いように取組を進めていきましょう。また、教職員の実践の意味付けや、子どもたちへの取組の振り返り等もできるといいですね。



「伝える」ことを意識した取組

南足柄市立足柄台中学校の実践

①教職員に伝える

- ・現状と方向性を確認する
(教職員へのアンケート)
- ・道徳教育推進教師による授業提案
(全職員が参観・協議)
- ・資料を残す(ワークシート、スライド等)



②生徒に伝える

- ・道徳を学ぶ教室の雰囲気づくり
- ・授業の展開を教職員で共有
個で考える ⇒ 伝え合う ⇒ 個に戻る

③保護者に伝える

- ・掲示物、道徳通信
⇒生徒の考えや行動を意味付け

道徳教育の環境づくりを意識した取組

大井町立大井小学校の実践

道徳コーナーの設置

- ・教室内の掲示板に道徳コーナーを設置
⇒日常生活で振り返る



前の道徳で勉強したね

前に道徳の授業で学んだことが、教室の掲示物にも関連しているよ



- ・学校図書館(学校司書)と連携し、道徳コーナーを設置



内容項目に関連した本の選定・設置

各学年のフロアに設置
読み聞かせて使用

授業力向上に向けた取組

綾瀬市立早園小学校の実践

①校内道徳研修の実施

- (1)少人数グループで、内容項目・教材を決定
- (2)発問や問い返しを検討(10分)
- (3)教師役を決める(決め方はじゃんけん)
- (4)模擬授業(15分)
- (5)振り返り ⇒「ここが良かった」を中心に

②教職員の授業の悩みを共有

- ・時間を決めて、実践における悩みを共有



子どもの振り返りがねらいに沿っていない気がするんです…

ねらいに迫る発問を一緒に考えましょう



小中一貫の道徳教育推進の取組

葉山町立長柄小学校・南郷中学校の実践

①小中で学校教育目標を統一

- ・中学校区のランドデザインを小中学校の教職員で共有

②小中一貫会議を年5回実施

- ・道徳教育を中心に、9年間の学びをつなげる

③研究授業を公開し、検討会を行う

- ・研究授業を公開し、小中学校の教職員で事前検討、研究協議を行う

理念に基づく一貫した道徳教育の推進



Q3 道徳科の評価の仕方が難しいです。どのような視点で評価をすることが大切なのでしょう？

A 道徳科の評価では、一人ひとりの子どもの成長を積極的に認め、励ます、個人内評価を行います。

道徳科では、子どもたちの学習状況について大きくくりなまとまりとしての評価をします。年間や学期という一定の期間の中で「**一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか**」、「**道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか**」を見取り、肯定的に励ますような言葉で評価しましょう。

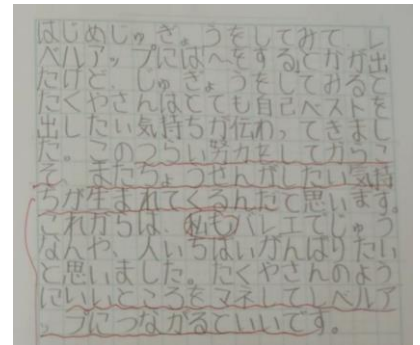


「大きくくりなまとまりとしての評価」とは…

- 個々の内容項目ごとに把握した学習状況を、年間や学期という一定の期間で総合的に見取り、子ども一人ひとりの成長をフィードバックすることが大切です。
- ICT やポートフォリオなどを活用し、子ども自身が成長を実感するよう促したり、教師がその様子を把握したりすることに努めましょう。

子どもの感想(「ひみつのトレーニング」光文書院 ゆたかな心 5年)

(前略) じゅぎょうをしてみるとたくやさんは、とても自己ベストを出したい気持ちが伝わってきました。このつらい努力をしたからこそ、またちようせんが生まれてくるんだと思います。これからは、私もバレーでじゅうなんなどをいちばいがんばりたいと思いました。(後略)



「多角的・多面的な見方」

「自分自身との関わり」

※2つの視点が入らないこともあります。

道徳科における評価の意義

授業中に自分の考えを表出する様子



教師

教師が指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるもの



児童・生徒

自らの成長を実感し意欲の向上につなげていくもの

指導に生かされ、児童・生徒の成長につながる評価でなくてはならない

授業後に板書を見ながら、議論しつづける子どもの様子



指導と評価の一体化

大切なのは、信頼できる先生から

認められ、励まされることです

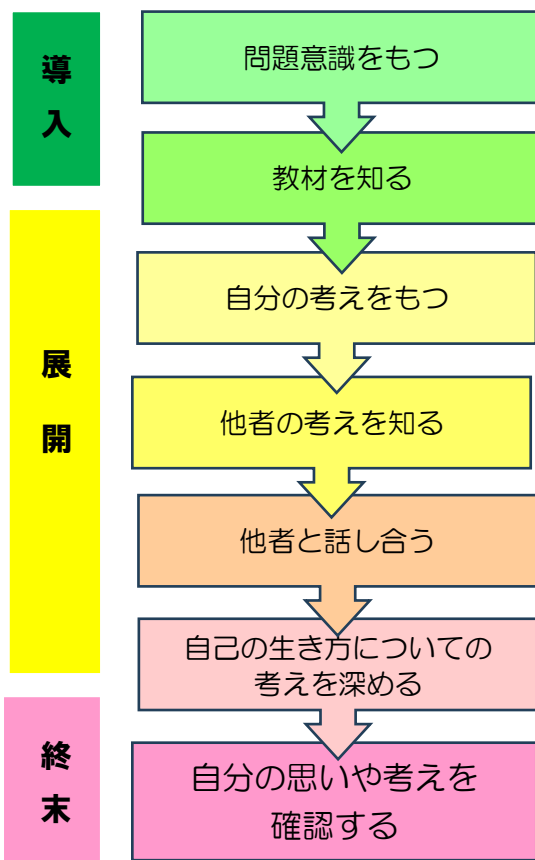


Q4 道徳科でのICTの活用について、どの場面で使えばよいか迷っています。

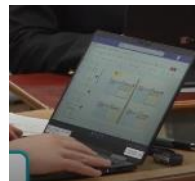
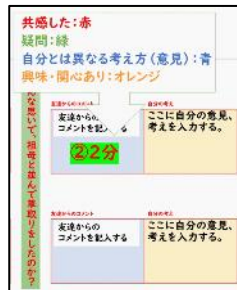
A 目的をはっきりさせて、効果的に活用しましょう。

ICTの良さは、画像や映像、グラフ等が**即時的**に表示できること、自分の考えや友だちの考えを**共有**できること、今までの学びの履歴を**蓄積**できること等があります。ICT活用の良さを効果的に活用し、子どもたちが主体的に学べる学習過程を考えられるといいですね。

一般的な学習指導過程



家の手伝いをしますか
自分から率先して:5名
家の人から頼まれたら:20名
一切しない:5名



(ICT活用例)

- クラスの実態(アンケート、グラフ等)や問題の提示、教材に関する画像や映像を提示
- 教材の提示や学習の流れ等の提示
- 自分の考えをもつ (ICT端末に示す)
⇒ クラス全体で共有
- 他者の考えを知る (ICT端末で共有する)
・ 他者の考えを受けて、グループの友だちに返答する 等
⇒ 多数派だけではなく、少数派の意見も共有することができる
- 自己を見つめる (ICT端末に蓄積する)
⇒ 道徳的価値についての自己実現への意欲を高める
- 生活の様子の提示 (画像や映像等)

写真引用「文部科学省 道徳教育アーカイブ」

※ICTを使うことを目的化するのではなく、子どもたちが「考え、議論する」ためにICTを効果的に活用することが大切です。

【参考資料】

★①文部科学省 道徳教育アーカイブ <https://doutoku.mext.go.jp/>

★学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

② (小学校) https://doutoku.mext.go.jp/pdf/elementary_school_02.pdf

③ (中学校) https://doutoku.mext.go.jp/pdf/junior_high_school_02.pdf

★④神奈川県教育委員会『傍観者』に焦点を当てたいじめ防止の取組 教員用指導リーフレット (改訂版)

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/ijime-bouryoku/siryoku.html>



問合せ先

神奈川県教育委員会 教育局支援部 子ども教育支援課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 電話:045-210-8292